

地方創生加速化交付金に係る事業評価

資料2

NO	交付対象事業の名称	事業概要	実施内容	担当課	事業費 (円)	うち 交付金 充当額 (円)	所管課評価	外部有識者からの意見
1	KJブランド創出プロジェクト ～川島町地域資源魅力発掘事業～	○農村カパワーアッププロジェクト 6次産業化推進体制を構築するため、農業生産団体、大学、農協、商工会、企業等で構成する協議会の立ち上げ、6次産業化に取り組む農家のための指針となり、農業従事者の増加、地域活性化に繋がることを目的として6次産業化戦略を策定する。 また、町の農産物を使用した新商品開発に取り組む。	・川島町6次産業化推進協議会を設置し、6次産業化戦略を策定した。 ・いちじくを使用した新商品の試作品の開発を行った。(3品) ・12/23開催のかわじマイルミネーションイベントに合わせ、いちじくを使用した試作品の試食会を女子栄養大学と連携し実施した。	農政産業課	41,655,547	41,171,707	戦略的に6次産業化を進めるための指針を策定することができた。 新商品の試作に関しては、「いちじくくるみ餅」や「いちじくジェラート」、「いちじくケーキ」を開発し、平成29年度新商品の開発へ向けて、計画通り進捗できた。 今後、生産者と加工者との商品製造体制の構築や販売ルートの確保、拡大が課題である。	
		○「KJブランド」創出プロジェクト 町の農産物や観光名所など地域資源をまるごと活用するため、地域ブランドとしての調査、発掘を行い、ブランド戦略を策定する。	・既存の地域資源の整理及び評価と新たな資源の発掘による可能性調査を実施した。 ・地域ブランドの確立を目指し、川島町ブランド推進協議会を設置し、KJブランド戦略を策定した。	政策推進課			町の現状分析(魅力と課題)を行い、目指すがたと取組の方向性を定めることができた。 平成29年度以降、ブランド戦略に基づき種々の事業を展開していく。	
		○「KJブランド」タウンプロモーション ・町の観光名所をめぐるバスを活用したモニターツアーを実施し、ニーズ調査を行う。 ・新たな観光資源として平成の森公園においてライトアップを行う。 ・町の農産物や観光名所等の観光情報誌を作成し、首都圏在住者に向けたPRを行う。	・都内在住者、食農分野専門家を対象にモニターツアーを2/11,2/12に開催(78名参加)し、タウンプロモーション及び観光資源としての調査を行った。 ・平成の森公園内でかわじマイルミネーションを12/3～12/25の期間で実施した。(来場者数約9,800人) ・「るるぶ特別編集 川島町」30,000部作成し、都内大型観光案内所(2箇所)、高速道路SAPA(3箇所)、関東圏のJTB各店舗(46店舗)で配布した。	政策推進課 まち整備課			町内外の方が見て楽しめる観光情報誌を作成し、多くの方に町をPRすることができた。また、新たな冬の観光資源としてライトアップを開始することができた。 平成29年度以降さらなる情報発信の強化と観光資源の磨き上げを行っていく。	

地方創生推進交付金に係る事業評価

NO	交付対象事業の名称	事業概要	実施内容	担当課	事業費 (円)	うち 交付金 充当額 (円)	所管課評価	外部有識者からの意見
1	KJブランド創出プロジェクト ～深化バージョン～	川島産の米を利用した「ごはん料理コンテスト」を開催し、川島産米の販売・消費拡大、農業振興、食育、新商品開発等につなげ、川島町の知名度向上等を図る。	・11/23にごはん料理コンテストを開催した。 ・食事部門・スイーツ部門でグランプリとなった作品(レシピ)を町ホームページで紹介 ・食事部門グランプリ「スタミナすったて丼」を学校給食で提供した。 ・町内飲食店において「スタミナすったて丼」の販売準備を開始した。	農政産業課	284,282	142,141	住民参加による料理コンテストを実施することで、川島町産の米のPRにつながった。 また、町内飲食店での新商品としての販売につながった。	

地域再生計画に係る重要業績評価指標 (KPI) (参考)				
指標	基準値 (H27)	目標値 (H28)	実績値 (H28)	目標値 (H32)
KJブランド販売額 (米・いちじく・いちご) (年間)	302,000千円	320,000千円	303,191千円	392,000千円
農産物直売所の売上額 (年間)	303,758千円	321,983千円	311,750千円	394,885千円
新規就農者数 (累計)	1人	4人	6人	50人
新規ブランド品開発数 (累計)	0品	1品	0品	3品